

朝鮮通信使

日韓国交正常化50周年記念 畫音[ファウム]プロジェクトフェスティバル 朝鮮通信使プロジェクト III
 한일 국교정상화 50주년 기념 화음 프로젝트 페스티벌 조선통신사프로젝트 III
 50th Anniversary of Japan-Korea Diplomatic Relations-Hwaum Project Festival 'Choseon Tongsinsa' Project III

指揮: パク・サンヨン 中村典子
 Conductor: PARK Sang-yeon
 オーボエ: ヨン・ミンキュ
 Oboe: YOON Min-kyu
 笙: 真鍋尚之
 Sho: MANABE Naoyuki
 弦楽: アンサンブル・クラムジカ
 String Orchestra: ensemble clumusica

지휘: 박상연, 나카무라노리코
 오보에: 윤민규
 생황: 마나베 나오키
 현악: 앙상블 쿠라무지카

임・지선: 샤도우・オブ・샤도우 임지선: Shadow of Shadow

LIM Jie-sun: Shadow of Shadow [Hwaum Project Op.62]

中村典子: 海煥草木川花奏鳴 나카무라노리코: 해환초목천화주명

NAKAMURA Noriko : hae hwan cho mog cheon hwa ju myeong [Hwaum Project Op.157]

임・지선: 散乱した記憶の邂逅 朝鮮通信使

임지선: 흩어진 기억과의 만남 조선통신사

LIM Jie-sun :Encouter with Scattered Memories Choseon Tongsinsa [Hwaum Project Op.147]

海煥草木川花奏鳴

hae hwan cho mog cheon hwa ju myeong



2015. **12.22** [TUE] 19:00 [Open:18:30] 入場無料

University Hall, Kyoto City University of Arts
 京都市立芸術大学大学会館ホール

Organiser: Hwaum Chamber Orchestra & Hwaum Project Festival, clumusica@Nakamura lab, KCUA
 Sponsor: Arts Council Korea, CJ Culture Foundation, Korean Cultural Center Osaka
 Contact: Hwaum Chamber Orchestra +82-(0)2-544-9092 hwaumco@naver.com
 Nakamura lab, KCUA phone 075-334-2363 nakamura@kcuu.ac.jp



NAKAMURA lab, KCUA



Arts Council Korea



CULTURE FOUNDATION



한국문화원

京都市立芸術大学

パク・サンヨン[指揮]

ソウル大学器楽音楽課程卒業。作曲課程終了。ドイツ・マンハイム音楽演劇大学卒業、シュトゥットガルト音楽演劇大学修了。韓国国立管弦楽団、KB 交響楽団、ラインラント・プファルツ州立管弦楽団に在籍。イタリア、ベルギー等ヨーロッパ公演で室内楽演奏。三百を超える室内楽演奏会の中からソウルレコードの招きで単独演奏。歌劇「愛の妙薬」「ルイサ・フェルナンダ」指揮。ファウム・チェンバー・オーケストラと KHMA アンサンブルを指揮、80 作を超える新作初演。現在、ファウム・チェンバー・オーケストラ芸術監督。ファウム・プロジェクト芸術監督。中央大学校外来教授。

ヨン・ミンキュ[オーボエ]

1977年ソウルフィルハーモニック首席オーボエ奏者の息子として生まれる。ソウル・イエオン芸術学校を経てデトモルト音楽大学に学ぶ。アレンツァーノ（ジェノバ）、ワイト島（イギリス）、ヘンデルフェストシュピレー（ドイツ）、国際ダブルリード協会フレランド・ジレットヒューゴ・フォックス（アメリカ）、オーディ・モーツルト（イタリア）などのコンクールで入賞。ボシュマー・シンフォニー、韓国交響楽団、スナナム交響楽団、ヘンデルフェスティバル管、カッセル州立歌劇場管、ザ・シンフォニエッタ、ハイドン響、ソウルシンフォニエッタ、済州響、デトモルト室内管弦楽団で独奏。2006年ボシュマー・シンフォニーとソウル・アートセンターフェスティバル管弦楽団首席オーボエ奏者。2010年「藝人」芸術監督。ソウル大学校音楽大学兼任教授。アンサンブル・ディアパゾンメンバー。

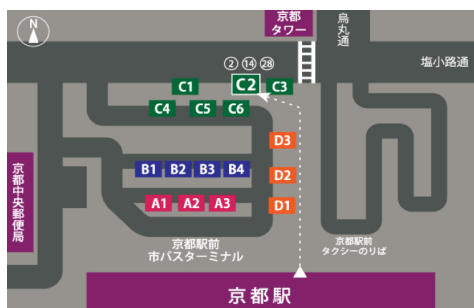
アンサンブル・クラムジカ clumusica は

中村典子、清水慶彦、増田真結により 2007 年に準備、2008 年の設立。17回の定期公演、19回のチャリティコンサート、ワークショップ、レクチャーを京都、滋賀、大阪、山口、大分、東京ならびに海外で行っている。近年アンサンブル・クラムジカはチェンバーオーケストラ、ヴォーカル・アンサンブルとして、アジアの伝統楽器[箏、十七絃、二十絃、古箏、琴、二胡]やエレクトロニクスと常時上演し、世界各地の音楽家作曲家達と共に、伝統と現代の音楽と舞踊のために幾つかの国際現代音楽祭を開催している。クラムジカメンバーは音楽祭、演奏会、レクチャーを海外でも行い、海外の現代音楽グループとも活動。アンサンブル・クラムジカ、ヴォーカル・アンサンブル・クラムジカは、京都市立芸術大学音楽学部中村研究室に拠点を置く。出演メンバー：

ヴァイオリン：中村公俊、三宅恵、水野万裕里、大藪英子
北條エレナ、榎本樹音、柳楽隼乃
ヴィオラ：岡田真実、佐本博子
チェロ：大西泰徳、孫子恵嗣、西村まなみ
コントラバス：赤松美幸、芦澤春奈

中村典子[作曲・指揮]

京都市立芸術大学音楽学部作曲専修卒業。京都音楽協会賞。同大学院作曲専攻首席修了。在学中同大学院よりプレーメン芸術大学セメスター派遣留学。故廣瀬量平、北爪道夫、前田守一、藤島昌壽、田島亘、故H.J.カウフマン、G.アミ等各氏に師事。日本、韓国、中国、台湾、米国、メキシコ、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、オーストリア、スペイン、ノルウェー、スウェーデン、イスラエルの15カ国各地で作品上演や放送。ハイデルベルク大学、モーツァルテウム大学で講演。サンフランシスコオペラハウス連続公演。第1回小倉理三郎音楽奨学金受給者。ドイツSyke"die Höhe"アーティスト・イン・レジデンス。国際女性作曲家会議など。2001年京都市芸術新人賞。2010年滋賀県文化奨励賞。clumusica 共卒。2008年より京都芸術センター運営委員。現在、京都市立芸術大学音楽学部准教授。



イム・ジェスン[作曲]

延世(ユンセ)大学首席卒業と共に渡米。インディアナ大学大学院で修士号、博士号取得。延世(ユンセ)大学校音楽大学作曲科教授。入野義朗記念賞、安益圭作曲賞、大韓民国作曲賞。フルブライト 研究員としてミシガン大学滞在。米国、ドイツ、フランス、英国、日本、ニュージーランド、台湾、中国、タイ、モルドヴァ、フランス、イスラエル等国際音楽祭で上演。京郷新聞プロジェクト「韓国を導く60人」選出(2007)。2012年9月から2013年8月まで国際日本文化研究センター外国人研究員で京都滞在。ファウム・チェンバー・オーケストラのレジデンスコンポーザー。「映画における現代音楽」出版(韓国)出版財団によるセイオン注目の学者の本としてノミネート。

真鍋尚之[笙]

神奈川県立弥栄東高校音楽コース卒業。洗足学園大学で作曲と声楽を専攻、東京芸術大学法学科雅楽専攻卒業。第1回国立劇場作曲コンクール優秀賞(第1位)。国際芸術連盟第4回 JILA 音楽コンクール第2位。現代邦楽研究所 10 周年記念事業「東京・邦楽コンクール」第1位。「真鍋尚之の笙リサイタル」シリーズの特に第3回が読売新聞「回顧 2003 クラシック4氏が選んだベスト 5」。CD「呼吸〜真鍋尚之の笙リサイタル」リリース(ロジマ録音)。小野雅楽会および十二音会で演奏。2000〜08年日本音楽集団メンバー。2011年 5月より 2012 年5月迄文化庁文化交流使としてベルリン拠点に雅楽紹介。



京都市立芸術大学へのアクセス：・京都駅前バスターミナルで京阪京都交通バス2・14・27系統に乗り、芸大前(約45 分)下車。阪急桂駅東口より京阪京都交通バス1・2・13・14・25・28 系統に乗り、芸大前(約20分)下車。JR桂川駅・阪急洛西口駅より京阪京都交通バス11A系統（京都成章高校前行き）に乗り、芸大前(約15分)で下車。バス停から徒歩すぐ。阪急桂駅、JR桂川駅からタクシーで15分。京都市立芸術大学学生会館ホール：大学正門に入って左手に見える円筒形の建物です。